

▶22日 日曜

ダニエル

3:24 そのとき、ネブカデネザル王は驚き、急いで立ち上がり、その顧問たちに尋ねて言った。「私たちは三人の者を縛って火の中に投げ込んだのではなかったか。」彼らは王に答えて言った。「王さま。そのとおりでございます。」

3:25 すると王は言った。「だが、私には、火の中をなわを解かれて歩いている四人の者が見える。しかも彼らは何の害も受けていない。第四の者の姿は神々の子のようだ。」

3:26 それから、ネブカデネザルは火の燃える炉の口に近づいて言った。「シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ。いと高き神のしもべたち。すぐ出て来なさい。」そこで、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは火の中から出て来た。

3:27 太守、長官、総督、王の顧問たちが集まり、この人たちを見たが、火は彼らのからだにはききめがなく、その頭の毛も焦げず、上着も以前と変わらず、火のにおいもしなかつた。

3:28 ネブカデネザルは言った。「ほむべきかな、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの神。神は御使いを送って、王の命令にそむき、自分たちのからだを差し出しても、神に信頼し、自分たちの神のほかはどんな神にも仕えず、また拝まないこのしもべたちを救われた。

3:29 それゆえ、私は命令する。諸民、諸国、諸国語の者のうち、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの神を侮る者はだれでも、その手足は切り離され、その家をごみの山とせざる。このように救い出すことのできる神は、ほかにないからだ。」



Bible Reference
聖書の記述

3:30 それから王は、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴをバビロン州で栄えさせた。

王の家来たちは身の安全のために王に従っていたでしょう。しかしその命令に従ったが、無残にも焼き殺されました。（昨日の箇所で）しかしシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴには神が共にいてくださり、守られました。

ここにクリスチヤンの人生があります。この火とは、肉体の死であり、病であり、試練であり、時にはリストラや貧困や批判の火でもあるでしょう。自分を守ることよりも、主の御心を第一にした結果、守られるということです。本当に主を愛する人は、そのような証しを喜びとするものです。

ネブカデネザルの行動を見ると、彼が本当に信仰を持ったとは思えません。しかし、この出来事は神の勝利を示しています。またそれは三人の信仰の勇者の勝利でもあります。神は私たちに「耐えられないような試練を与えるようなことはなさらない」ので、私たちも同じように試練をもって、信仰の証しをしたいものです。必ず勝利できるのですから。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

